

地域社会の発展に貢献するために

支部活動のご紹介

公益社団法人日本技術士会千葉県支部は、2012年4月に第1回の役員会を開催して支部としての活動を始め、2024年3月で満12年を迎えました。前身である千葉県技術士会の20年を加えると、千葉県における技術士会の活動は30年余の歴史となります。

これまでに諸先輩が築きあげてきた千葉県支部の文化・諸施策をさらに発展させ、支部所属会員の支援とともに、千葉県の発展に寄与していきたいと考えております。

今後とも、支部活動への変わらぬご支援とご鞭撻をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

日本技術士会は、技術士法に規定された国家資格である「技術士」により構成する公益社団法人です。

「技術士」は、科学技術全般にわたる21の技術部門で高等の専門的応用能力を持ち、計画、研究、設計、分析、試験、評価、またはこれらに関する指導の業務を行っています。また、技術士法の規定により、その業務に当っては、公共の安全など公益の確保（技術者倫理）および知識の水準の向上など資質向上（継続研鑽）の責務を負っています。

千葉県支部では、下記の基本理念および行動指針を柱にして、千葉エリアに密着した活動を進めることにより、地域経済社会の発展と科学技術の向上に貢献してまいります。

基本理念

日本技術士会千葉県支部は、多様な技術士の技術力とチーム力で、産・学・官との交流・連携を強めて、地域社会の発展に貢献する。

行動指針

1. 技術士倫理の啓発に努め、継続研鑽(CPD)により技術士の資質向上に努める。
2. 産・学・官との交流を深め、連携を積極的に行い、技術士の活用を促進する。
3. 企業支援、科学技術・理科教育支援、コミュニティとの協働を活発にする。
4. 技術士の知名度向上および会員拡大を図る。



千葉県支部は、前記の理念に基づき、役員会の下に8つの委員会を構成し、それらの委員会を通して、主に「県内技術士への支援」および「社会貢献活動」の2つの活動を行っています。千葉県支部の組織と部門別所属会員数は最終ページをご覧ください。

1. 資質向上を含めた県内技術士の支援

技術士の資質を継続的に向上させる機会として、CPD(Continuing Professional Development: 継続研鑽)講演会や見学会をほぼ毎月実施しております。また、ホームページの充実や、同報メールで情報の共有を進めています。

特に、新型コロナウイルスの蔓延を契機として導入した、会議や講演会のリモート方式は、遠方に在住の方や出張先、業務の合間などに参加することができるなど大きなメリットを発揮しています。さらに、技術士として非常勤講師などの各種教育やセミナーなどのプレゼンテーション能力を磨く活動も推進しています。

【企画委員会のCPD講演会・見学会活動】

企画委員会は、技術士に対して、技術士法第47条の2に定められた資質向上責務の遂行を支援する目的で、2023年度末までの10年間に、基本的に毎月1回、計131回の千葉県支部CPD講演会・見学会を実施してきました。

日本技術士会は、技術士に求められる資質・能力のコンピテンシーとして、「専門的学識」「問題解決」「マネージメント」「評価」「コミュニケーション」「リーダーシップ」「技術者倫理」「継続研さん」の8つを定めています。技術士CPDの企画実施運営では、会員のニーズに対応しながら、重点的なカテゴリーを決め、これらのコンピテンシーが培われるように充実した内容を企画して、技術士の技術士業務や社会貢献に役立てるようにしています。

講演会・見学会の後には、参加者相互および講演者との意見交換・親交を深めることを目的として、交流会を開催しています。

また、支部の関連委員会と協同で、毎年9月には防災支援委員会による防災講演会、随時の技術者教育支援委員会と合同の技術者倫理などの講演会を開催して、組織強化の仕組みづくりを構築してきました。今後も継続していきます。

毎年6月には、CPD合格者祝賀講演会を開催し、千葉県支部委員会への会員勧誘活動、修習技術者からの相談対応等を行っています。さらには、CPD講演会の講師依頼を通じて、地域の大学(千葉大学、千葉商科大学等)・自治体(千葉市等)・企業(新京成電鉄等)・その他外部団体との交流(4団体合同勉強会等)と連携を深めて技術士の知名度向上を図っています。また、講演会の案内を通じて、地域の中小企業経営者へ向けた情報発信を行っています。

講演会の形式は、2023年度から会場講演会、リモート講演会に加えて、ハイブリッド(会場+リモート)講演会の3形態としており、より多くの会員がCPD講演会に参加できる体制になりました。

現在、企画委員会の委員として17名が参加して、輪番で毎月のCPD講演会・見学会の主担当、副担当、受付、会計を分担し、講師との交流・講演会の広報活動・講演会開催運営を円滑に実施できるようにしています。



ハイブリッドでのCPD講演会の様子

【技術者教育支援委員会の講演会活動】

技術者倫理を基本として、それ以外の技術士らしい専門を含めた講師力の向上を目指しています。

少し遅れて発足し、96回の講演会・見学会を実施してきました。講演の参加者はただ聴講するだけでなく、講師を含めて全員が積極的に議論に加わることを前提として、アクティブ・ラーニング形式の質疑、教えあい、グループワークなどで切磋琢磨しています。

当初は技術者倫理を教える大学講師の鍛錬を目標としていましたが、対象を他の科目に拡大し、さらに、一般技術者対象のセミナー講師、技術相談対応時のプレゼンテーション技術向上に向けて、幅広いテーマの講演としています。

講演会は他の活動との競合を避けて毎月第3日曜午前に行っています。現在のリモート方式から、いずれハイブリッド（事務所＋リモート）に移行する予定です。一部の講演は企画委員会と合同開催で、その際は、講師さがしと講演内容の調整を当委員会が担当しています。

最近では、技術者倫理の他に、「キャリアデザイン」科目への講師の需要が高まり、特に技術者になるための職業教育が求められています。他に、「経営管理」、「生産管理」、さらに「知的財産」、「製図」など、その他の専門科目についての需要もあります。実績として、千葉大学（3科目）、日本大学機械工学科（4科目）、日本大学土木工学科、第一工科大学、東京都市大学などがあり、今後も拡大していく予定です。講演会の活動から輩出した講師は13名です。

これまでの主な講演例

「大学での技術者倫理教育の実践」、「コンサルタントの技術者倫理」、「文章作成」、「トップマネジメント」、「発想法」、「Zoom の利用」、「化学工場の作り方」、「DX 経営」、「情報の倫理」、「第二のキャリア形成」、「ChatGPT」、「AI とプレスト」など



信濃川発電所見学会

【千葉県支部の縁の下力持ち “総務委員会”】

総務委員会は、支部の運営管理と財務管理を中心として、支部および各委員会の仕事を円滑に進めるためのサポートが主な仕事です。

技術士としての活動とは直接関係がありませんが、総務委員会は支部運営に必要な多種多様な業務を担当するため、さまざまな業務内容があります。総務委員会の役割は、支部の他の委員会では取り扱わない、支部運営に必要な業務を全般的に担当することです。

総務委員会が種々の業務を担当することで、他の委員会は専門業務に集中することができます。そのため、目立たない存在ですが、支部活動に大いに貢献しています。



千葉県支部設立 10 周年記念講演会

担当業務

- (1) 支部の運営に関わる庶務事項
- (2) 収支予算および収支決算の策定およびその執行管理
- (3) 規定類の管理
- (4) 役員会、年次大会の計画とその運営
- (5) 会員および協賛団体に関する事項
- (6) その他の委員会の所掌にない事項

総務委員会のメンバーは、2024 年3月現在9名です。

2. 社会貢献活動

こどもたちから社会人まで、理科教育や地域自治体の防災教育活動などを日本技術士会本部・委員会に加え、千葉市や千葉工業防災ネットワークなどとも連携して進めております。さらに、時代の激しい変化に対応する中小企業を支援する活動も推進しております。

【科学教育支援委員会の活動】

当委員会は、健全で活力と好奇心にあふれる人々の暮らしや社会の発展を期し、青少年向けに科学技術の啓発や公教育機関の理科教育の支援を行っています。

活動の3本の柱

- 1) 中高一貫校や高等学校向けに様々な科学・技術テーマの出前講座
- 2) 千葉市科学フェスタなどの大規模科学体験イベントへの多様な理科教材群の出展
- 3) 教育機関主催の小中高生理科研究発表会への指導委員の派出



出前講座2020年10月
SDGs×都市鉱山

部門技術士の幅広い実務経験や最新動向に裏打ちされた専門の知見は、中高校課程教育とはひと味違い、生徒さんたちや時には学校の先生方向けに、科学技術の視野を広げ、また実習工作を通じた科学のわくわく体験を提供しています。高校生には社会でのキャリア経歴の紹介が進路選択にも役立っているとのこと。

さらに上記 1)、2)にわたる特色があります。まず、高校と無電源ラジオなどの教材で協力し、同校で実習工作の成果を挙げています。この生徒さんたちが科学体験イベント時に来場の子供たち向けに指導する立場に回り、先生や技術士は控えに徹するという壮(老?)青幼の枠組みです。

日本技術士会は、これらの展開に向けた多様な専門家人材のプールです。既に実績のある一連の講座、科学体験教材だけに留まらず、内容の改善や学校からの要望、指導委員の増員依頼などに対して、時宜にかなった自薦・他薦新規の技術士が加わることにより更新・増強を続けています。

【企業支援委員会・技術相談小委員会の活動】



東葛テクノプラザでの技術相談

技術相談小委員会の正会員(技術士)は、東葛テクノプラザ(柏市)、千葉市産業振興財団(千葉市)、千葉県支部事務所の3か所で「技術士相談所」を開設し、企業の技術的な問題、開発あるいは改善などの問題についてご相談を受け、解決を見出すためのお手伝いをしています。

“技術士”は、文部科学省に登録された国家試験合格者で、あらゆる分野、業種などに対応できる知識と現場経験を持っており、また技術士法第45条によって秘密保持が義務づけられています。

企業の皆様のご相談をお待ちしております。

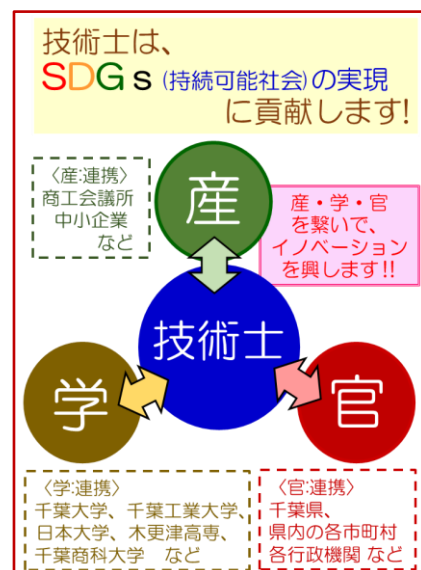
【産学官連携委員会の活動】

公益社団法人 日本技術士会千葉県支部 産学官連携委員会は、「多様な技術士の技術力とチーム力で産・学・官との交流・連携を強めて地域社会の発展に貢献」をスローガンに、学（千葉大学、千葉工業大学、日本大学など）、官（千葉県、千葉県産業振興センター、千葉市産業振興財団、ベンチャープラザ船橋、千葉県環境財団など）、産（中小企業・商工会議所など）と密接な関係を保つことで、“イノベーション”を興す社会貢献を目的としており、技術士の知名度向上の活動も実施しています。

産学官連携委員会に所属している技術士は現在10名で、その技術分野は機械（3名）、化学（2名）、電気電子（2名）、建設（2名）、上下水道（1名）です。

活動内容

- ◎大学へのアプローチ：千葉大学、千葉工業大学、日本大学などへの訪問および意見交換
- ◎官庁へのアプローチ：千葉県庁・日本技術士会千葉県支部の合同勉強会の実施
千葉県庁、千葉県内各市町村、千葉県産業振興センター、千葉市産業振興財団 などとの関係
- ◎産業界へのアプローチ：千葉産業人クラブとの連携および企業へのアンケート実施、
企業訪問、ヒヤリング、産学官関連セミナーへの参加および同報メールでの会員への案内
千葉での産学官連携フォーラムへの出展による技術士の広報



【防災活動・災害時復興支援活動 ～防災支援委員会～】

災害大国日本。自然災害発生の危険性が最も高い国、それが日本です。関東大震災、阪神淡路大震災、東日本大震災など幾多の地震災害、さらに、火山災害、台風や竜巻による風水害や土砂災害があります。これらにより被災し、多くの人命が失われました。千葉県でも、これまでに津波、液状化、強風、浸水、土砂崩れなどの被害を受けてきました。

防災支援委員会では、技術士である各委員の専門分野を生かし、次のような支援活動を行っています。

防災啓発活動

- 防災講演会を主催
- 市民活動に参加し、市民向け防災啓発活動を実施

被災地域の復興を支援

- 千葉市と協定を締結

被災者の支援

- 千葉県弁護士会と協働し、県や関係団体と連携
- 千葉県災害復興支援士業ネットワークへ参画

技術士として専門を生かした防災分野での社会貢献



ふなばし市民活動フェアに参加



【広報委員会による支部活動の周知】

広報委員会では、千葉県支部として実施する科学技術の普及、および科学技術による社会貢献に関わる活動や情報を、広く市民の皆様にアナウンスしています。

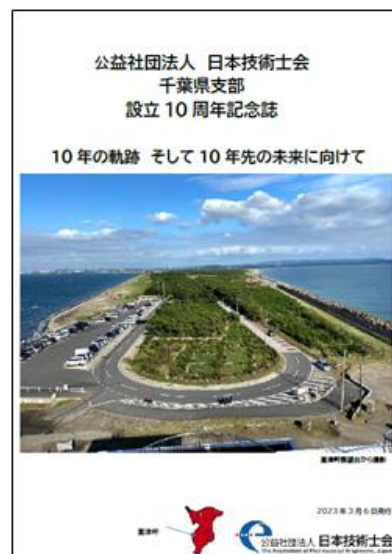
軸となる2つの活動

- 1) 支部ホームページを運営して、千葉県支部各委員会の活動実績をはじめ、様々な活動報告を掲載することで、千葉県支部活動の周知を図る。
- 2) 各委員会が様々な催事を計画、開催するにあたり、支部ホームページあるいは同報メールで千葉県支部会員や一般市民の方々に事前告知することで、各委員会活動の活性化を図る。

2024年3月現在、6名の委員で活動しています。

また、迅速かつ多方面への情報発信を図るために、Facebook ページを開設しています。

(<https://www.facebook.com/IPEJ.Chiba/>)



今後も、「千葉県支部会員の活動支援、およびそのための広報活動を通して広く社会貢献に寄与する」ように、技術士の知名度向上に軸足を置いて、活動してまいります。

我々を取り巻く環境は日々刻々大きく変動しています。まさに不測の事態が次々と発生して驚くばかりですが、こういう時にこそ、さまざまな専門知識と経験を持つ技術士の活躍の場があるものと考えています。

千葉県支部の活動も、各委員会単独ではなくお互いに協働しながら、さらに日本技術士会本部、行政や大学など地域の組織とも連携を深めながら、技術士の価値を高め、その力を発揮する活動を進めていきます。そのためには、ともに活動する仲間を増やし、関係する皆様のさらなるご支援が必須と考えております。

今後とも、日本技術士会千葉県支部の活動にご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

千葉県支部の委員会構成

支部役員会

- 総務委員会
- 企画委員会
- 広報委員会
- 産学官連携委員会
- 企業支援委員会 — 技術相談小委員会
- 防災支援委員会
- 科学教育支援委員会
- 技術者教育支援委員会

千葉県支部の会員数 2024 年 3 月末現在

技術部門	正会員	準会員
機械	89	22
船舶・海洋	0	0
航空・宇宙	6	2
電気電子	131	26
化学	50	18
繊維	1	2
金属	26	2
資源工学	7	0
建設	235	48
上下水道	45	19
衛生工学	43	7
農業	32	6
森林	14	2
水産	14	3
経営工学	41	14
情報工学	53	19
応用理学	27	5
生物工学	12	8
環境	29	23
原子力・放射線	8	5
総合技術監理	188	3
(部門別数 計)*	1051	234
会員数 計	802	171

* 複数部門の資格保持者がおり、部門別数計と会員数計は異なります。

公益社団法人

日本技術士会 千葉県支部

〒260-0013

千葉県千葉市中央区中央二丁目 7 番 10 号
シャンボール千葉中央 2 階 206 号

TEL 043-301-2032

FAX 043-301-2031

E-mail: chiba@engineer.or.jp

URL: <https://www.engineer.or.jp/c/shibu/chiba/>



E-mail



URL



<交通のご案内>

- ・千葉都市モノレール 葭川公園駅(よしかわこうえん)より徒歩 4 分
- ・京成千葉中央駅より徒歩 8 分
- ・JR千葉駅より徒歩 10 分

発行 2024 年 6 月